

# 木彫による造形研究 2021

## クロッキー&ドローイング

岩井 義尚 *IWAI Yoshinao*

(美術領域)

作品の形の素は、「自然のモノをデッサンしていると、その源は球体、それも機械的な球体ではなく、心地良い球体の単体又は複合体である」と考える。私の創作は、この考えを基に「視覚に訴えかけるのに重要である水平要素・垂直要素そのものが創り出す空間」を使い構成している。



Form 2202

**第44回 中部二元展 2022年3月8日～13日**  
愛知県美術館 8F ギャラリー (A・B室) (名古屋市)

テーマ；「動き」「流れ」「生」「種」

立体作品における制作は、テーマからイメージし、形の根源を動物（人も含む）・植物・自然現象から創作要素を探り、構成を考慮し、素材（木）を彫ることにより形（Form）を創り出す手法で具現化した単体又は集合体で表現している。

平面作品は、ペンで描く多くのフリーハンドの線の重ねにより、人物を構成し、立体作品に影響するエスキースの要素を含むドローイングと人体クロッキー（各種描画素材）により、テーマを表現する研究をしている。

**Form 2201**

樺 (ケヤキ)+A.B.W+真鍮棒  
H200×W78×D120 (cm)

A.B.W.; アメリカン ブラック  
ウォールナット

「地からの誕生シリーズ№3のForm 2201」は、地を流れるいくつかの支流から集合したところから出現した球状体により、大切な総菜の「種」を表現した。

第44回中部二元展へ出品  
(愛知県立美術館8FギャラリーA・B室)  
現在は岩倉市「一期一会」の一角に  
設置



**Form 2102**

樺 (イチイ)+アフリカンパドック  
H36,7×W55×D24,5 (cm)



単純な大小の同系のボディ  
(フォルム)を組み合わせる  
事により「種」の大切さを  
表現した。





#### Form 2104

樟（クス）+ 樺（イチイ）+ 銅棒  
 台；樺（ケヤキ）  
 H52×W62×D39（cm）

「地からの誕生シリーズNo.2のForm 2104」は、シリーズNo.1と同様に、単体の母体より発生した球状体により特別な存在の「種」を表現した。

第44回中部二元展へ出品  
 （愛知県立美術館8FギャラリーA・B室）

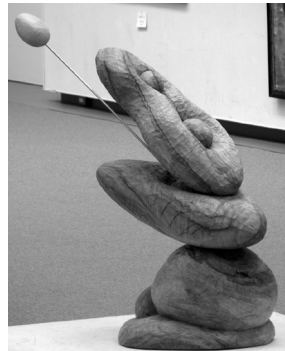


#### Form 2202

樟（クス）+ 樺（カヤ）+ 真鍮棒  
 H91×W79×D38（cm）

「地からの誕生シリーズNo.4のForm 2202」は、積み重なった異なる要素の複合体である母体より発生した球状体により、特別な存在の「種」を表現した。

第44回中部二元展へ出品  
 （愛知県立美術館8FギャラリーA・B室）





**Form 2103**

樟 (クス) + 樺 (ケヤキ) + 銅棒  
 台; 樺 (ケヤキ)  
 H96×W37×D45 (cm)

「地からの誕生シリーズNo.1のForm 2103」は、単体の母体より発生した球状体により特別な存在の「種」を表現した。

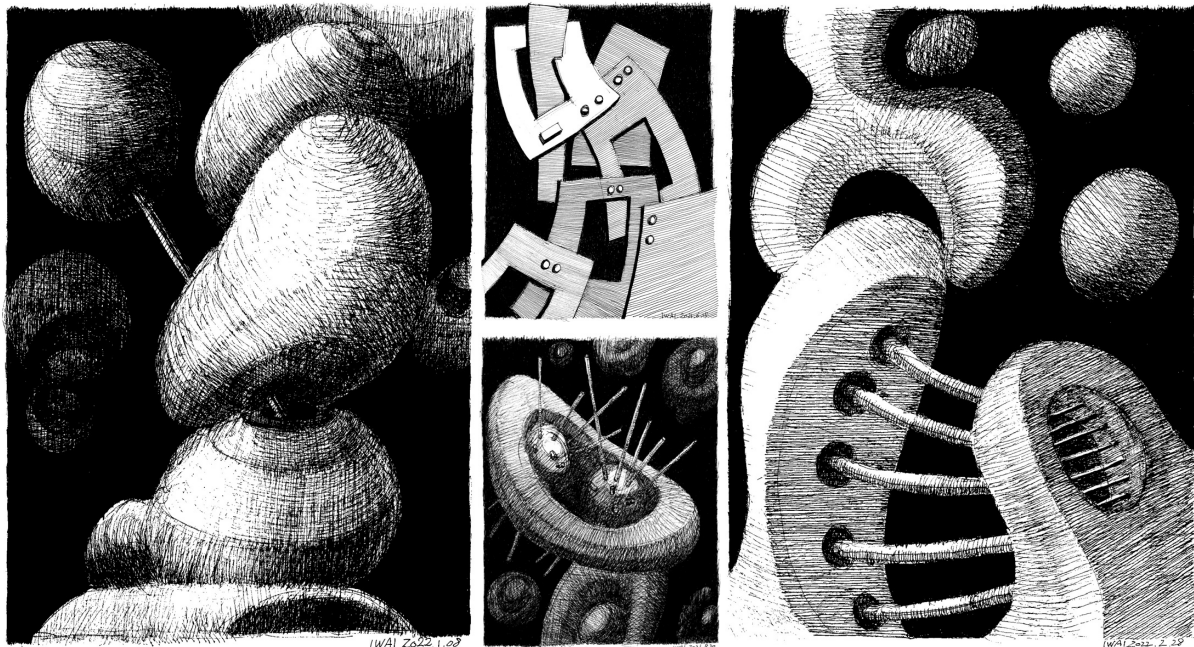
2021 中部二元会研究展へ出品  
 (名古屋市民ギャラリー栄7F4室)

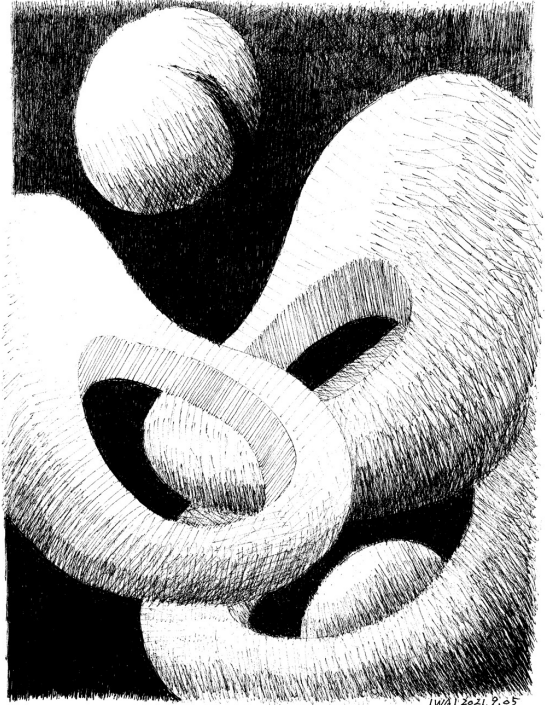
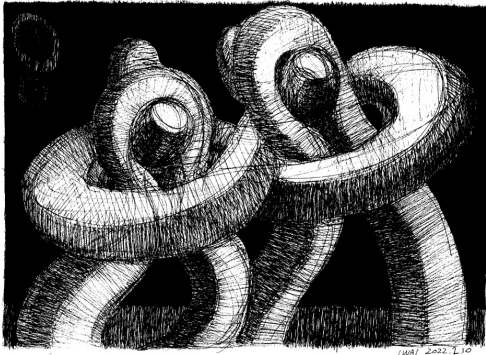


**ドローイング**

4ページ半分と5ページに亘るドローイングは、ロットリング風のペン (0,05 ~ 0,4 mm巾) を使用したペン画である。立体やレリーフ作品の為のアイデアを確立する為の平面の紙 (水彩紙) に、線の積み重ねによる奥行き表現を行っている。

「Form 2103」「Form 2104」「Form 2201」「Form 2202」へと繋がるドローイング



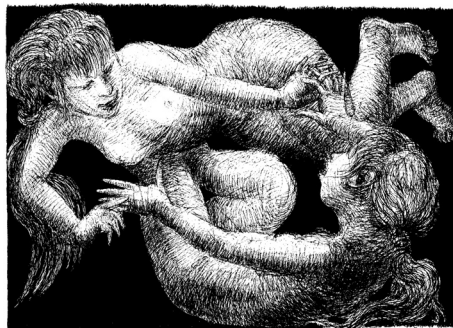


木彫抽象作品の  
「Form 2103」  
「Form 2104」  
「Form 2201」  
「Form 2202」へと  
繋がるドローイング

木彫具象作品へと  
繋がる人物ドロー  
イング



2021.10.12



個人研究「木彫による  
造形研究」の立体やレ  
リーフ作品のためのアイ  
ディアスケッチ（完成  
予想図）と位置付けて  
いる。

クロッキー会  
「Art of 20 歩」作品展  
へ賛助出品



### クロッキー

人体表現、抽象表現及び空間表現に繋がるモノが「クロッキー」と考える。人体の流れと繋がりを研究する為に、最近では和紙を用い、筆ペンを描画材として描いている。

和紙に筆ペンは相性が良く、「大胆な線」「繊細な線」を併せて描ける良さを持っている。

(顔料色筆ペン、パステルを併用)

紙面を数ポーズ(同一モデル)を重ねて、空間場面構成を瞬時にしながら描く方法で行っている。

発表；中部二元会研究展出品  
「Art of 20 歩」作品展へ賛助出品

